

<h1>そだて</h1> <p>第289号</p>	<p>小千谷市 青少年育成センター</p>	<p>〒947-0031 小千谷市土川1丁目5番53号 Tel 0258-82-6750 Fax 0258-82-6750 相談専用電話 0258-82-6771 e-mail: s-center@city.ojya.niigata.jp URL http://www.city.ojya.niigata.jp/</p>
---------------------------	---------------------------	---

数字と余裕

青少年育成センター所長 菅原 誠廣

突然ですが、皆さんは次のような文章を見たり、聞いたりしたことはないでしょうか。

「産医師、異国に向こう。産後厄なく、産婦みやしろに、虫散々闇に鳴く。」

これは、円周率 π の近似値で、小数以下30桁を暗誦するための語呂合わせです。

他にも、「ひとよ ひとよに ひとみごろ」があります。こちらはルート2の近似値で、2乗すると2との誤差は極めて小さいものになります。

円周率や平方根を計算機もなかった時代に、筆算で求めた先人の根気と努力に頭が下がります。

日常生活では、小数以下2、3桁もあれば十分でしょうし、実際に筆算で求めたりすることはほとんどないでしょうが、私などは、30桁をすらすら言える人に出会ったら、とてつもなく余裕のある人だなと感心してしまいます。

COVID-19 感染拡大以前は様々な交流ができ、私達の周りでこのような余裕というようなものを感じさせる人に、ときどき出会えました。すれ違っただけでは分かりませんが、立ち止まって会話をすると、この人は余裕のある人だなととても感心したものです。ところが、新型感染症が猛威を振るい人々の交流がかなり制限されてしまいました。出会いや触れ合いの場が少なくなったことは、とても貴重な機会の損失だと私は考えています。

平面のゲーム画面などからは得られない、人と人とのコミュニケーションから得られる「すごい人だな」と思う感覚は人を刺激します。これは、もしかすると相手の人に感ずる、人間としての奥深さ、教養といった目に見えないものの影響かも知れません。

π の近似値を30桁まで暗記していることが教養ではなくて、言葉の端々に見えるその人の余裕が教養につながるのかも知れません。今年度も、何人かの余裕のある人に出会えて、とても勉強になりました。私たちは青少年のみなさんに、少しでも余裕のある大人だなと思ってもらえる存在でありたいものです。

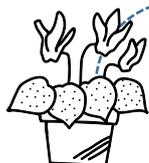
令和4年度の青少年健全育成活動を、多くの委員の皆様から貴重な時間を差し繰って参加いただき、街頭声かけ活動を中心に行っていただきました。挨拶等の声かけ数は1300を超え、委員の皆様の実践した活動が覗えます。参加後の感想では問題等はほとんどなく、小千谷市内がとても落ち着いた環境になっていることの表れだと考えております。参加いただいた委員の皆様へ感謝申し上げます。今後もお力添えをいただきますようお願いいたします。



令和4年度の活動報告

□街頭声かけ活動

令和4年度は11月6日の最終声かけ活動まで、補導委員の方々に巡回していただいた回数は44回、延べ132人になりました。声かけ活動では、1304人のお子さんから大人まで大勢の皆さんに声をかけていただきました。また、今年度はおぢやまつりで3年ぶりの合同パトロールが実施され、5名の委員の皆さんから参加していただきました。毎回の委員の皆さんの見守り・声かけ活動が、小千谷の子ども達の健全育成に大きく貢献されていると感じています。ありがとうございました。



活動後半の皆さんの感想です（抜粋）

- 地域の大人が定期的に見守る活動は良いと思います。
- これからは冬に向かい、帰り道に交通事故や事件に巻き込まれないためにもこの活動は大切だと思いました。
- 駅に置いてある自転車がロックされてないのが多くあり、盗難の危険性が高いと感じた。
- 日暮れが早くなったため、早めに帰宅する者と屋内で時間をつぶす者の二極化を感じた。
- 外で遊んでいる子がない…時代の変化と共に子ども達が集まる場所や機会は減少しているのかもしれない。ゲームも今はオンラインでつながる時代になってきている。ネット社会との上手い付き合い方を子どもと共に勉強して行かなければならないと改めて思った。
- 子ども達の通学、下校の様子が見られて良い経験ができました。

□環境浄化活動

7月5日、育成センターと生涯学習課合同で、市内の商業施設やJR小千谷駅周辺を巡回しました。目立った問題点等はありませんでしたが、どこにでも危険は隠れています。皆さんの見守りや気づきも大切なポイントになります。気になる点がありましたら、いつでもセンターまでお知らせください。

□合同パトロール

3年ぶりに小千谷警察署・少年警察ボランティア連絡協議会・青少年補導委員の3団体で合同パトロールを実施しました。青少年補導委員さんの参加は少なかったですが、有意義な経験となりました。

□広報活動

機関紙「そだて」を3回発行しました。小千谷市のホームページにも公開されています。お知り合いの方々にご紹介していただき、是非ご覧いただきたいと思います。

□相談活動

今年度1月末までの相談件数は、延べ30件（面接6件、電話23件、メール1件）ありました。今年度の特徴としては、チラシをみて面談を希望する生徒、学生さんが多くなり、また保護者からの相談では教育問題が多く、内容により教育センターの教育相談に繋ぐケースもありました。チラシ配布の他に、中学3年生には名刺サイズの相談カードを配布しました。新しい高校生活での不安や心配などを気軽に相談してもらえると有り難いです。

◆保護者の皆さんからの相談も受け付けています。お子さんへの悩みや不安をお持ちの方がいらっしやいましたら「青少年育成センター」の相談窓口をご紹介いただくとありがたいです。

青少年育成センター相談電話 0258-82-6771

この一年間、青少年育成センターへのご理解とご協力、ありがとうございました。